

# すこやか 5 月号

第 197 号  
月号

SANDA CITY HOSPITAL PRESS SUKOYAKA



## 特集 FEATURE 脳梗塞について



脳神経外科 医長  
垣田 寛人

- 日本脳神経外科学会 専門医
- 日本脳神経血管内治療学会専門医

### 脳梗塞とは？

脳梗塞は、脳の血管が詰まったり、狭くなったりして脳組織への血流が低下し、その状態がある程度続くことで、脳組織が壊死してしまう疾患です。脳梗塞や脳内出血などの脳血管疾患は、日本人の死因では第4位(9%、平成26年度)(図1)、また介護が必要となる原因では第1位(18.5%、平成25年度)(図2)で軽視できない疾患です。

### 原因と症状

脳梗塞の主な原因は動脈硬化です。これは年齢とともに生じてきますが、高血圧、脂質異常症、糖尿病、喫煙といった危険因子があるとさらに進行し、その結果、血管狭窄(狭くなること)や閉塞(塞がること)が生じます。これらの症状は、気付かない間に徐々に進行して脳梗塞に至るため、普段から内科的治療を行って管理する必要があります。もう一つの原因は“心房細動”という不整脈で、心臓内に血栓(血の塊)が生じ、それが流れていくことで血管を閉塞してしまいます。

脳は部位により働きが違うため、脳梗塞が生じた部位により様々な症状が生じます。片方の手や足が動かしにくくなる“片麻痺”やしびれが生じる“感覚

障害”、言葉がうまくしゃべられなくなる“構音障害”“失語”、めまい・ふらつきなどによる“歩行障害”などがあります。行動がおかしくなるなどの症状が出ることもあり、「何かいつもと違う」と自覚したり、指摘されたらすぐに受診するようにしましょう。

### 治療は？

症状が出現してある程度時間が経過している場合、壊死した脳組織は現在の医学では再生できないため、リハビリで症状の軽減を目指します。しかし、発症後4.5時間以内なら症状軽減の可能性がある注射薬があり、また8時間以内ならカテーテルを用いて閉塞血管を再開通できる血管内治療があります(それぞれの症例により適応となるかどうかは医師の判断によります)。

### まとめ

脳梗塞は一度なってしまうと症状が残存し、その後の日常生活動作(ADL)が低下し、生活の質(QOL)の低下を招くため、普段から内科的疾患の治療をしっかりと行い、十分な水分摂取を行って予防することが重要です。

脳梗塞を疑うような症状が出現したときは、軽い症状で抑えるためにも、様子を見ずに、救急車を呼んですぐに受診するようにしましょう。

図1 死因(平成26年度)

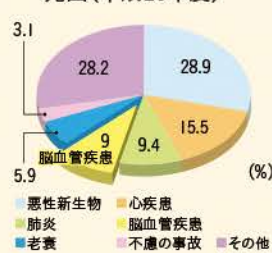
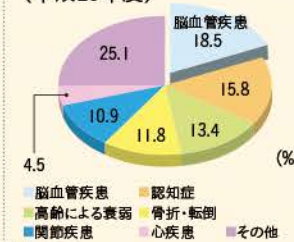


図2 介護が必要となった主な原因(平成25年度)



(厚生労働省HPIによる)



# Topics

三田市民病院トピックス

## 基本理念・基本方針を わかりやすくしました

事業管理者・院長 荒川 創一

平成29年4月1日から、病院の基本理念と基本方針とをバージョンアップしましたので、下記にお示しします。皆さんに、より覚えていただきやすく、病院の目指す方向を理解していただける言葉としました。

医療は、患者さんと病院スタッフとの共同により、信頼関係のもとに成り立っていくものと考えています。職員一同、気持ちを新たに、地域の方々にますます頼りにしていただける病院でありますよう、努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

**基本理念** 「良質な高度医療で、地域に安心をもたらします」

「ハイレベルのチーム医療で患者さんを支えます」

「救急医療を充実させ、中核病院の役割を果たします」

**基本方針** 「急性期医療を担い、地域連携を推進します」

「経営基盤を強化し、病院機能を向上させていきます」

「高い技術と倫理観をもった医療人を育成します」

### Report

## 大規模事故を想定した訓練を実施しました

24時間体制で救急医療にあたる市民病院は、地震や大規模事故などで、多くの患者さんが搬送された場合にも迅速かつ適切に対応ができるよう、定期的に訓練をしています。

今年の2月に実施した訓練は、医療スタッフの少ない夜間帯に大型観光バスとトラックの衝突事故が発生し、多くの患者さんが救急搬送される想定で行いました。消防からの患者さんの受入要請を受け当直職員などを招集し、緊急連絡網で必要な職員を呼び出し対応にあたります。災害現場で救急隊が重症度や治療の優先度を示すトリアージタグを付けた患者さんが、次々と運ばれてきます。医師は患者さんの状態を確認して第2トリアージを行い、検査や緊急手術の手配を指示し、医療スタッフは迅速に患者さんの処置を行いました。また、災害対策本部では情報を集約し、患者さんの安否確認の対応や記者発表を行いました。

災害や事故の発生時期や規模は予測できません。緊急時にも十分な医療を提供できるように、今後も訓練を行っていきます。



救急搬送に対応するスタッフ



対策本部での情報確認



# 就任のご挨拶

副院長兼統括看護部長 中屋ひとみ



4月1日付けで副院長兼統括看護部長として着任しました中屋ひとみでございます。阪神北部に位置する三田の地で地域の中核病院として、住民の皆さんの健康の回復・増進に向けて、看護部が一致団結して支援が行えるよう、努力してまいります。「良質な高度医療で、地域に安心をもたらします」という病院理念を基軸に、「質の高い、信頼される看護」を推進してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

New Face 2017

## 新任医師紹介

診療部では新任の医師を迎え、より一層日々の診療に力を入れてまいります。よろしくお祈りします！

消化器内科 副医長 東内 雄亮

とうない ゆうすけ

本年度より消化器内科でお世話になっております。少しずつ慣れていくよう、頑張っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

出身地：兵庫県 趣味：野球観戦



麻酔科 副医長 邊見 弥生

へんみ やよい

4月より麻酔科に赴任いたしました。少しでも早く新しい環境に慣れて、手術室を盛り上げていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

出身地：徳島県 趣味：カフェや雑貨屋さん巡り



脳神経外科 医師 能勢 明德

のせ あきのり

4月からお世話になっております能勢です。三田を含め地域の患者さんから信頼していただけるような脳外科を目指して頑張りますので、よろしくお願いいたします。

出身地：兵庫県 趣味：バドミントン



形成外科 医師 酒井 玲子

さかい れいこ

4月より形成外科医として赴任してきました。皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。

出身地：兵庫県 趣味：料理





## 耳鼻いんこう科 医師 藤井 那津美

ふじい なつみ

精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

出身地：兵庫県 趣味：テニス、ゴルフ、マリンスポーツ、お酒



## 循環器内科 医師 西原 悠

にしはら ゆう

医師になって3年目の西原悠です。生まれも育ちも大阪で、初めて県を越えての就職となりました。当院では1年目の若輩者ではありますが、常に明るく精一杯頑張りますので、ご指導のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

出身地：大阪府 趣味：旅行、英会話、ゴルフ



## 初期研修医 瀧本 真美

たきもと まみ

4月から初期研修医としてお世話になっております、瀧本と申します。至らない点も多いかとは思いますが、精一杯頑張らせていただきます。ご指導の程よろしくお願いします。

出身地：兵庫県 趣味：写真、お菓子作り、温泉



## 初期研修医 藤本 俊樹

ふじもと としき

4月より初期研修医としてお世話になっております、藤本と申します。中高と学び、成長させていただいた三田の地で、医師としての一步を踏み出せることに喜びを感じております。日々、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

出身地：兵庫県 趣味：スポーツ（中高大と部活はテニス部でした）



## 初期研修医 伊藤 昌桂

いとう まさかつ

4月より初期研修医としてお世話になっております、伊藤と申します。新しい環境で、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、精一杯頑張りますので、ご指導の程、よろしくお願いします。

出身地：兵庫県 趣味：スキー



## 初期研修医 伊藤 亮

いとう りょう

4月より初期研修医としてお世話になっております、伊藤と申します。至らない点も多々あるとは思いますが、1日でも早く皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

出身地：大阪府 趣味：音楽、楽器（ギター、ベース、ドラム、カホン）



## 初期研修医 佐伯 美紀

さえき みき

はじめまして。初期研修医の佐伯美紀と申します。自分の長所である明るさ、真面目さを生かして、業務に取り組んで参ります。どうかよろしくお願いいたします。

出身地：和歌山県 趣味：さんぽ、水族館めぐり





# 病棟紹介 3階救急重症病棟

3階救急重症病棟 課長 堂園 三弥子

当院は救急患者の受け入れを行う、救急告示医療機関に指定されています。3階救急重症病棟は、重症度の高い患者さん、救急搬送されたり緊急手術を必要とする患者さんの集中的な治療を行うことが主な役割で、病状が落ち着くと4～6階の他の病棟へ転棟されます。当病棟は平成16年秋に開設され、丸12年が経過したところです。

病床は7床あり、「ハイケアユニット入院医療管理料1」が算定できる条件を備えています。ハイケアユニットの位置付けとしては、ICU（集中治療室）に準ずるもので、看護師のマンパワーや医療機器を集中して配置し、より密度の濃い治療や看護を行います。当病棟に入院されるのは、急性心筋梗塞や心不全、消化管出血、交通事故、緊急手術後、長時間に及ぶ大手術後の方など、多岐にわたります。中央にあるスタッフステーションでは24時間体制で血圧や脈、心電図などを観察し、患者さんの状態に変化があれば迅速に対応できるよう、部屋の仕切りがないオープンフロアになっています。

ベッドの横には、人工呼吸器や精密な点滴を行う機器、心拍監視モニターなど多くの医療機器があります。より高度な治療が必要な場合には、人工心肺や心臓の動きを補助する装置（大動脈にバルーンを留置し、心臓の動きに合わせて拡張と収縮を繰り返す装置）などで患者さんの心肺機能をサポートします。

平成29年4月現在、病棟看護師19名で3交代制勤務を行っています。当病棟は全ての診療科の緊急入院・緊急手術後・緊急検査後・重症の方を対象としているため、看護師の迅速かつ正確な判断や専門知識・技術を必要とするのはもちろんですが、生命の危機的状況にある患者さんのご家族の不安や心配を軽減することに配慮して、チーム一丸となって取り組んでいます。



引継ぎの様子



患者さん観察中の様子



病室の様子



スタッフ集合写真



## 三田市民病院改革プランを策定しました

市民病院では、平成 29 年 3 月、「三田市民病院改革プラン」を策定しました。この過程では、「三田市民病院事業計画策定及び進行管理委員会」で検討した案に対する市民の皆さんからのご意見を募集しました。主なご意見とそれらに対する市民病院の考えは下記のとおりです。

「改革プラン」(案)に対する主なご意見

分類	主なご意見	市民病院の考え
医療を取り巻く状況	「看護師不足、医師不足のために経営形態の見直し」が必要だといわれますが、今国で働き方改革が議論されておりますが、看護師は厳しい労働条件の中で働いております。勤務条件の整備がまず必要だと思います。自治体の責任で計画的に確保をお願いします。	快適な職場環境の整備を図り、医師・看護師確保に努めます。また、医師確保については、関連大学との連携強化により医師派遣と研修医の確保に努めていきます。
医療圏別の病床配置状況	阪神北医療圏は入院ベッド過剰。特に急性期が過剰で、回復期が不足の状況を統合再編でベッド数を減らす計画には反対。急性期を減らし回復期のベッドに転換することは、入院患者サービスの低下と看護師削減で労働強化にもつながる。生活に直結する雇用関係の悪化を行政が行うのは時代に逆行。	急性期病床(300床)を削減することは考えておりません。また、一般急性期からの病床区分の変更についても考えておりません。
市民意識調査より	市のスローガンでは「子育てするならゼツタイ三田」を挙げておられ、これを信じて三田に転入してこられた人もあり、小児・周産期医療(出産など)はぜひ確立していただきたい。	地域住民のニーズとして、小児・周産期医療の継続と診療機能の強化については、市民病院として必要であると考えております。今後も小児・周産期医療は、継続維持に努めます。
改革プランの策定	独立行政法人になると赤字部門は切り捨てられる可能性が大きいので反対です。指定管理や民間譲渡などは市民病院の改革案として俎上にあげた意識を疑います。	経営形態については、現状の地方公営企業法の全部適用を含めた新公立病院改革ガイドラインが示す4つの選択肢から医療情勢を鑑みて、最適な経営形態を選択する必要があります。
その他	救急医療は、市民病院として最大重要であり、他病院にまかせることは出来ません。	救急機能の更なる充実を図り、地域医療の基幹的な役割を担っていきます。

このプランは、平成 27 年 3 月に総務省が示した「新公立病院改革ガイドライン」に沿って、都道府県が策定する「地域医療構想」と整合した計画を平成 29 年 3 月までに策定することが求められたものです。

プランにおいては、平成 30 年度内に、再編・ネットワークや経営形態について結論を取りまとめること、平成 31 年度に経常収支の黒字化を達成すべく経営改善に取り組むことなど、今後も本院が、地域の皆さんに安心をもたらす基幹病院であるための方向性を示しています。

「改革プラン」は、三田市ホームページ、市民病院ホームページに掲載しているほか、市民役所(市民情報ひろば)、市民病院、各市民センターなどで閲覧できます。

問い合わせ = 三田市民病院事務局 経営企画課 (565-8846 FAX 565-0686)



### 編集後記

毎年5月31日は、世界禁煙デーとなっております。世界保健機関(WHO)が制定した国際デーの一つです。たばこをやめるだけで様々な病気になるリスクが減り、たばこにお金をかける必要もありません。“世界禁煙デー”という日がある意味を、考えてみたいものですね!

すこやか(第197号)  
平成29年5月発行

【編集・発行】  
三田市民病院  
学術広報推進委員会



**三田市民病院**

〒669-1321 三田市けやき台3丁目1番地1  
TEL.079-565-8000 (代表)  
<http://www.hospital.sanda.hyogo.jp/>